



がん患者さんの治療と生活をつなぐ
NPO法人 キャンサーリボンズ

NPO法人 キャンサーリボンズ 第18回日本緩和医療学会学術大会

第5回「がん支えあいの日」共催フォーラム

6月21日はがん支えあいの日
—生きることは、自分を表現すること—

報告書



2013年6月

NPO法人 キャンサーリボンズ

<実施概要>

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| ■テーマ | 6月21日はがん支えあいの日—生きることは、自分を表現すること— |
| ■開催日 | 2012年6月21日(金) 14:15～16:00 (開場 14:00) |
| ■会場 | パシフィコ横浜 第8会場 会議センター3階 |
| ■参加者数 | 200名超 |

- | | |
|------|--|
| 【共催】 | 特定非営利活動法人キャンサーリボنز
第18回日本緩和医療学会学術大会 |
| 【協賛】 | アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
株式会社スヴェンソン
ロート製薬株式会社
がん性疼痛緩和推進コンソーシアム
(塩野義製薬、帝國製薬、テルモ、日本新薬、久光製薬) |

■プログラム

(敬称略)

14:15～14:20

開会挨拶

東口 高志 (日本緩和医療学会学術大会 大会長
NPO 法人キャンサーリボنز 委員)

14:20～14:50

「自分らしさを装う」

＜対談＞ コシノジュンコ (ファッションデザイナー)

岡山 慶子 (NPO 法人キャンサーリボنز副理事長)

14:50～15:15

「自分らしさを支える—痛みと QOL 調査から見てきたもの—」

＜講演＞ 横山 智央

(厚生中央病院、呼吸器・腫瘍内科医長、外来化学療法センター長)

15:20～16:00

「自分を語る・言葉を紡ぐ」

＜朗読＞ 青木 裕子

(一般社団法人軽井沢朗読館館長、元 NHK アナウンサー)

【開会挨拶】

東口高志（第18回日本緩和医療学会学術大会 大会長）

本日夏至の日は、「がん支えあいの日」です。

ここには、支える側の方がたくさんいらっしゃると思いますが、是非とも今日はコシノさん、NPO 法人キャンサーリボンズ関係者に支えられるように、楽しんでいただければ幸いです。このような機会をいただき、本当にありがとうございます。



【対談】 「自分らしさを装う」



コシノジュンコ（ファッションデザイナー）

岡山 慶子（NPO 法人キャンサーリボンズ副理事長）

世界で活躍されているコシノジュンコさんに、おしゃれの魅力はなにか、患者さんの気持ちを引き立てる装いとはどんなものか、また、コシノさんのお母様を主人公とした昨年度のNHK 連続テレビ小説「カーネーション」のお話などをうかがいました。

洋服を着てヘアスタイルを整えておしゃれをするのが女性。歳を重ねたり、病気になったりしたことをきっかけに髪が少なくなってしまうと、以前の、病気をする前の自分に戻りたいと思うのは当たり前のこと。しかし、それをあきらめるのではなく、一つのファッション、自分自身の演出として考えていただければと思います。隠すのではなく、ますます自分らしくなることが大切だと思ったことが、女性のがん患者さんの支援活動「ハートプロジェクト」を始めたきっかけでした。普段からおしゃれをして、病気に備えておけるといいですね。



【講演】 「自分らしさを支える—痛みと QOL 調査から見てきたもの—」

横山 智央

（厚生中央病院、呼吸器・腫瘍内科医長、外来化学療法センター長）

本日はみなさんにこの講演を通して、がん患者さんが自分らしい生活を送るにはどのようなことをすればよいのか、医療スタッフはどのようなことができるのか、どのようなことに注意すればよいのかということを考えていきたいと思います。

近年がんの治療は外来で行うのが主流です。がん患者さんは日常生活や社会生活を送りながら治療を行うことが可能になっています。薬剤の進歩により、生存率も向上し、「がんと共存する時代」となってきた今、長期にわたり治療を継続する必要も出てきています。

がん性疼痛緩和推進コンソーシアムとがんサリボنزとともに昨年、がん患者さんの痛みが、日常生活にどのような影響を及ぼしているか調査・検討を行いました。痛みは、身体機能だけでなく、気分、情緒、経済的問題に影響を及ぼしていることがわかりました。また、“痛みがない”ことが、“がん医療に対する満足度が高い”傾向が見られました。

がん患者さんは、身体的・精神的・経済的困難を抱え治療に臨みます。医療スタッフは、がん患者さんの自分らしい生活を支えるために、がんの診断時から長期 QOL 向上を念頭に置いた、痛みの評価と、各医療スタッフ・チーム医療による対応が望まれるかと思われます。今後の皆さまの臨床に役立てていただければと思います。



緩和ケアに携っている医師からのコメント

- ・痛みはかなりとれるようになってきたと思っていたのですが、まだまだ痛みで困っているというレベルなのだなと実感いたしました。どうもありがとうございました。

【朗読】「自分を語る・言葉を紡ぐ」

青木 裕子 （一般社団法人軽井沢朗読館館長、元 NHK アナウンサー）

朗読内容

- ・朗読 CD『あなたには、明日、生きる意味がある』より、
（財）田附興風会北野病院院長 藤井信吾「がんと手術」
- ・がん体験者やそのご家族、ご関係者の方から募集したメッセージ

埼玉県 57歳 女性

東京都 57歳 岡部孝さん

茨城県 48歳 小林幸子さん

- ・絵本

『なきすぎてはいけない』

作：内田 麟太郎 絵：たかす かずみ 発行：岩崎書店

『だいじょうぶだよ、ゾウさん』

作：ローレンス・ブルギニョン 絵：ヴァレリー・ダール 発行：講談社

朗読会では朗読 CD「あなたには、明日、生きる意味がある」から1編と、今回の朗読会のために一般から募集した「支えあい」をテーマとしたメッセージの中から3編、絵本2冊を青木裕子さんが朗読しました。青木さんががん患者さんに朗読をお教えになったエピソードなども交えながら会は進み、満席となった会場では、涙を流して聞き入る方もいらっしゃいました。



メディア掲載

- # 「がん支えあいの日」に寄せて メッセージを募集します

がん患者の心を支えるNPO法人



毎年、夏頃にあたる6月21日は「がん支えあいの日」です。「がん支えあいの日」は、社会全体でがん患者さんの自分ひとりで生活を送ることを行儀にせずして、病日にあたると今年は、普通の体験メッセージを広く募集し、それを社会に発信します。ご応募お待ちしております。

募集要項

 - 対象者と応募先：**がんを体験された方、ご家族、ご友人、関係者など。
 - テーマ：**支えあえた言葉やできごと、感謝の気持ち、
自分が病との支えになれること、など。
 - 文字数：**400字程度
 - 開催日：**2013年6月16日(水)まで【当日消印有効】
 - 応募資格と応募方法：**①がん体験者、家族など具体的なご経験ください。②郵便番号と住所、③年齢、④電話番号を明記の上、上坪ふたつFAX・E-mailで下記URLにてご連絡ください。
URL: /104-0045 東京都港区赤坂1-4-15 ちきりんビル4F キャンサーリボンズ事務局
FAX: 03(5586)4914 E-mail: ribbon@chiikirin.co.jp
(E-mailでの応募の際は、件名を「がん支えあいの日メッセージ」としてください)



応募方法

お問い合わせ先：〒104-0045 東京都港区赤坂1-4-15 ちきりんビル4F キャンサーリボンズ事務局
TEL: 03(5586)4914 FAX: 03(5586)4914 E-mail: ribbon@chiikirin.co.jp

募集期間中にいただいたメッセージはすべて公開いたしますが、掲載の可否については最終的に事務局にて決定させていただきます。また、掲載の可否に関わらず、ご応募いただいたメッセージは必ずしもそのまま掲載されず、必要に応じて編集させていただきます。また、掲載の可否に関わらず、ご応募いただいたメッセージは必ずしもそのまま掲載されず、必要に応じて編集させていただきます。

ご希望でしたらの方の中へ、お名前（氏名）と性別、年齢、職業、住居地、連絡先（郵便番号、住所、電話番号）を明記の上、上坪ふたつFAX・E-mailで下記URLにてご連絡ください。そして100枚以上NPQのシンボルマーク アリスのピンバッジ1個以上が必要です。



お問い合わせ先 TEL: 03(3546)6101(Fax:0120-47-0700)

NPO法人キャンサーリボンズ

アメリカンファミリー生命保険協会の、株式会社スウェーデン、ロード・エドワード株式会社 が主催する非営利組織（公益財団法人）として活動中。

代表理事：大久保 久美子、副代表理事：山本 和彦、事務局長：大久保 久美子

チラシ

- ・事前配布チラシ
各地のリボンズハウス内に配布しました。

「がん支えあいの日」に寄せて メッセージを募集します

NPO法人がん支えあいの会
〒138-0035 東京都江東区有明1-1-1
三井物産ビルディング

毎年、夏頃に当たる6月21日は「がん支えあいの日」です。「がん支えあいの日」は、社会全体でがん患者さんの自分らしい生活を支援することを行動に移す日です。第5回にあたる今年は、皆様への体験メッセージを広く募集し、それを社会に発信します。ご応募お待ちしております。

募 集 要 項

- 対象となる方** がんを体験された方、ご家族、ご友人、医療者など。
- テーマ** 支えになった言葉やできごと、感謝の気持ち、自分が誰かの支えになれること、など。
- 字　数** 400字程度
- 期　間** 2013年6月5日（水）まで【当日消印有効】

ご希望いただいた方の中から、20名様に書籍CD「あなたには、朝日・生ずる意味がある地、そして100年後に当NPOのシンボルマーク アイリスのピンバッジを1個差し上げます。

応募方法

- ①お名前、②お立場（がん体験者、家族など具体的に記載ください）、③郵便番号と住所、④年齢、⑤電話番号を明記の上、ハガキまたはFAX、E-mailにて下記までにご応募ください。

宛 先 〒114-0045 東京都中央区臨海1-9-14 ちとせビル3F 「キャンサーリハビリ事務局」

F A X 03(5685)4914

E-mail rlibon2@ellesnet.co.jp 【Eメールでの応募の際は、件名を「2013年夏『がん支えあいの日』メッセージ募集」としてください。】

※応募いただいたメッセージはすべて公開させていただきますが、個人情報保護の観点から必要に応じて一部を加工して掲載いたします。
また、応募いただいたメッセージの一部をホームページに掲載させていただきます。掲載希望の場合は応募時にお知らせください。掲載希望でない場合は応募時に「掲載不要」とお知らせください。この場合でも、応募いただいたメッセージは事務局内で活用させていただきます。ご了承ください。

お問い合わせ TEL 03(3646)8101 FAX 03-1000-1700

主催 NPO法人キャンサーリボンス

後援 アフラック（アメリカファミリー生命保険会社）、株式会社スウェンソン、ロート製薬株式会社
がん性疼痛緩和推進コンソーシアム（道野癌協会、寺岡癌協、テルモ、日本製薬、久光製薬）

その結果、44 件のメッセージが寄せられました。

・会場内での当日配布チラシ

情報コーナーへの設置のほか、塩野義製薬様、日本新薬様のランチョンセミナーで
ご配布いただきました。

共催フォーラム

NPO法人キャンサーリボンズ
第18回日本緩和医療学会学術大会

6月21日はがん支えあいの日

—生きることは、自分を表現すること—

事前申し込み不要

開催日

6月21日(金)14:15~16:00

会場

第8会場 会議センター 3F

14:15~14:20 開会挨拶 第18回日本緩和医療学会学術大会 大会長 東口 高志

14:20~14:50

対談 「自分らしさを装う」

コシノジュンコさん(ファッションデザイナー)

岡山 麻子さん(NPO法人キャンサーリボンズ副理事長)

息苦しい気持ちを「立てる装い」とはどんなものか、また、コシノさんのお母様を主人公とした昨年度のNHK連続テレビ小説「カーネーション」にまつわるエピソードなどもお話をうかがいます。



14:50~15:15

講演 「自分らしさを支える—痛みとQOL調査から見えてきたもの—」

横山 智央(厚生中央病院、呼吸器・腫瘍内科部長、外来化学療法コーディネーター)

がん性疼痛緩和看護コンソーシアムとキャンサーリボンズが協働で実施したがん患者さんを対象とした調査結果から、痛みは身体機能を低下させるだけでなく、気分・情緒、経済的問題に影響を及ぼし、QOLを低下させることが示されました。



15:20~16:00

朗読 「自分を語る・言葉と紡ぐ」

青木 梢子さん(一般社団法人 緩和ケア看護協会代表、元NHKアナウンサー)

大友柳を呼んだ朗読CD「あなたには、明日、生きる意味がある」の中から数編と、今日が人体験者やそのご家族、関係者の方から募集したメッセージを朗読します。朗読を通じた言葉と声の力を、是非体験してください。



ご参加の皆様には、
がん支えあいのシンボルマークであるアイリスの花
([「あなたが大切」が花言葉]のピンバッジを1個、
または著名な動物写真家 岩谷光昭さんによる
ポストカードセットをお持ち帰りができます。



協賛

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)、株式会社スウェンソン、ロート製薬株式会社、
がん性疼痛緩和看護コンソーシアム (塩野義製薬、帝國製薬、テルモ、日本新薬、久光製薬)

■抄録集へのプログラム掲載

JSPM 日本緩和医療学会 日本緩和医療学会
Japanese Society for Palliative Medicine

第18回 日本緩和医療学会学術大会

The 18th Congress of the Japanese Society for Palliative Medicine

いきいきと生き、幸せに逝く



会期 2013年6月21日(金)~22日(土)

会場 パシフィコ横浜

大会長 東口 高志 (厚田保健衛生大学医学部 外科)

第8会場 (会議センター311+312) 6/21(金) 14:15-16:00

関連企画2 キャンサーリボンズ 6月21日は、がん支えあいの日〜生きることは、自分を表現すること〜

第18回日本緩和医療学会学術大会・NPO法人キャンサーリボンズ共催フォーラム

「がん支えあいの日」は、がんやがん患者さんの少しでも心地よい生活について社会全体で考え、支援を行なうことを記念日です。NPO法人キャンサーリボンズでは、1年で最も長いこの夏の日(年によって日にちがずれることがあります)に、がんについて語りあおうと呼びかけています。

14:15~14:20 開会挨拶 第18回日本緩和医療学会学術大会 大会長 東口 高志

14:20~14:50 対談「自分らしさを着る」

コシノジュンコ (ファッションデザイナー)

岡山 慶子 (NPO法人キャンサーリボンズ副理事長)

女性がん患者さん支援を行う『ハートプロジェクト』活動の一環で帽子のデザイン監修をなさった際、「闘病中でも帽子があれば、おしゃれに安心感を与えてくれます。ちょっとお散歩しような、誰かにこの帽子を見せたいな、という気持ちに患者さんがなってくれることを願っています。」とコメントされたコシノさん。おしゃれの能力は何か、患者さんの気持ちを引き立てる笑いとどんなものか、お話をうかがいます。



14:50~15:15 講演「自分らしきを支える〜痛みとQOL調査から見えてきたもの〜」

横山 智央 (厚生中央病院、呼吸器・腫瘍内科医長、外科学療法センター長)

がん性疼痛緩和推進コンソーシアムとキャンサーリボンズが協働で実施したがん患者さんを対象とした調査結果から、痛みは身体機能を低下させるだけでなく、気分・情緒、経済的問題に影響を及ぼし、QOLを低下させることが示唆されました。患者さん一人ひとりが自分らしい生活を送るためには、早い段階からの「痛みの評価とケア」が不可欠です。



15:15~15:20 場面転換

15:20~16:00 対談「自分を語る・言葉を結ぶ」

青木 裕子 (軽井沢高級旅館長、元NHKアナウンサー)

キャンサーリボンズと軽井沢高級旅館のコラボレーションによって誕生した朗読CD『あなたには、明日、生きる意味がある』が大反響を呼び、また、患者さんからお寄せくださったメッセージを朗読したイベントでは、会場が大きな感動に包まれました。ある患者さんは、青木さんに朗読を学び、お子さんに読み聞かせの録音を遺しました。朗読を通じた言葉と声の力を、是非体験してください。



【協賛】 アフラック、がん性疼痛緩和推進コンソーシアム、株式会社スヴェンソン、ロート製薬株式会社

関連企画

[illegible]

《原稿刊》2013年8月11日(金) 《会費》バタフィオ横浜 第2会場 会場センター3階

《参賛》アフラック(アフラック生命保険株式会社)、株式会社Hシステム、リート取締役株式会社、
法人協賛株式会社エフエーエム(東京エフエム、東京エフエム、エフエム、エフエム、エフエム、エフエム)

福川 潤
 神戸大学文学部国文学専攻准教授
 神戸大学文学部国文学専攻准教授
 神戸大学文学部国文学専攻准教授

京口 高志
1986年毕业于南京中央大学，
获文学硕士学位。历任南京、
上海、北京等地电视台、
报社、出版单位编辑、记者。

14.10~14.20 新到圖書 海洋圖書 中國地圖出版社 中國圖書 入資 入資 單口 圖書

NTPO輸入キョウサイ一歩式で、このアイボリーをコンパイルして、
高麗にがんやのちろっサーを飾る、『がんやええい』の裏の掛け旗がでることを目指しています。

肌研が変わる。あなたの肌を変えたくて。

肌チェン!

保湿液 化粧水 乳液 乳液 オイル
乳液 乳液 乳液 乳液 乳液

肌研 ^{ハダラボ}®

パーフェクトシンプル

[illegible]

■配布物

参加者の皆さまには、キャンサーリボンズからがん支えあいグッズ、アイリスのピンバッジか、岩合光昭さん撮影のポストカードどちらか1点をがん支えあい活動の啓発のために配布致しました。



その他、協賛企業様からの配布資料や、スキンケア製品のサンプルをお配りいたしました。